

若くて優秀な技術者を輩出する高等専門学校(高専)。高専生数は日本の同世代の約1%と少ないが、企業は経営や現場における中核人材として秋波を送る。高専生に選ばれる企業はどこか。また高専生の心をつかむ採用術とは。「高専に任せる! 2019年就職先ランキング」から考察する。

サントリー、地道に「絆」醸造

学校と接点増やし大量採用



サントリープロダクツ木曾川工場(愛知県犬山市)でインターンシップに参加する高専生

初のトップに

100人を超える。最大の勢力であり、もはや現場採用母体といえる。同グループは1990年代後半から高専生の採用を開始。10年からは順次、部門別の採用へと広げられた。今、工場長手前の技術者として活躍する高専出身者は多い。

本部長の松野良輔氏と位置付け、高いスキルや問題解決能力を評価する。19年春に入社した社員は全体で265人。うち国立高専卒は95人、公立・私立の高専卒を含めると10月下旬、宇部工業高等専門学校で開かれた報告会にサントリーは出向した。高専の就職は大学や大学院の理系のそれと似ていることがある。先生から会社を推薦されて就職の信頼関係を築き、安定的に採用に結びつけている。年に2、3回、各々の機構や回路を作った。同社の約1万人の社員ユダッタビルの設備の更新期を迎え、即戦力の高専出身者への期待は高い。ここ10年で400人強の採用し、13年採用した社員が1年未満で退職した。高専側は学生を送り出した企業を注視する。「高専出身者をちゃんと成長させてくれるかどうか。伸びしろのある高専生なら期待だ。成長していることがわかれば、そこから2人、3人とつ

三菱電機ビルテクノOB加え一丸対応

採用の極意 5カ条

- 1 インターンは実践重視、フォローはきめ細かく
- 2 本社、現場、OB・OGの3者連携でアプローチ
- 3 脱「採用0人」、まずは1人の実績を
- 4 入社後の状況も細かく学校に報告
- 5 学科や専攻にとらわれず、柔軟な採用戦略を

情報通信など非製造業に就職する高専生が増えている (主な産業別就職者数)	19年	9年比増減率
コンサルなど 学術研究、専門・技術サービス業	369人	106.1%
情報通信業	805	36.9
建設業	503	26.7
インフラ 電気・ガス・水道業など	413	5.6
製造業	2,945	-8.2

(出所) 文部科学省「学校基本調査」

てもらい仕事に直結する経験を積んでもらう。その割合を占めており、係長から役員までの役職には637人が名を連ねている。人事の処遇は大学卒業生と同様だ。高専側は学生を送り出した企業を注視する。「高専出身者をちゃんと成長させてくれるかどうか。伸びしろのある高専生なら期待だ。成長していることがわかれば、そこから2人、3人とつ

国立高専生の就職先ランキング

企業名	採用数	うち女子	18年
1 サントリーグループ	95人	24人	66人
2 JR東海	78	8	80
3 旭化成	70	13	60
4 NTT東日本グループ※ (エンジニア)	64	16	44
5 花王	59	15	65
6 JXTGエネルギー	50	2	48
7 メンバーズ	49	13	45
8 関西電力	47	7	48
9 キヤノン	45	7	37
10 ダイキン工業	44	4	57
11 出光興産	43	5	44
12 日東電工	42	20	22
13 三菱電機ビルテクノサービス	40	4	49
14 国土交通省 中部電力	39	10	44
16 大阪ガス	34	8	36
NTTフィールドテクノ	34	12	38
パナソニック	34	2	29
19 富士電機	31	10	31
20 セイコーエプソン	30	4	26
21 中国電力	29	1	30
東京ガス	29	7	45
JR東日本	29	3	20
ファナック	29	2	40
25 SUBARUテクノ	28	1	24
キヤノンメディカルシステムズ	28	4	37
27 SUBARU	27	5	24
28 四国電力	26	4	17
29 JALエンジニアリング	25	7	17
東レ	25	5	25
31 エヌ・ティ・ティ・インフラネット	24	11	23
東北電力	24	2	18
ホンダ	24	1	19
34 浜松ホトニクス	22	4	9
35 京セラ	21	4	12
JR西日本	21	6	23
37 三菱電機エンジニアリング	20	7	17
三菱電機	20	1	25
39 ANAラインメンテナンステクノ	19	2	23
キヤノンシステムアンドサポート	19	9	13
東京電力ホールディングス	19	6	10
マツダ	19	4	12
43 NHKテクノロジーズ	18	6	6
コマツ	18	1	5
Jパワー	18	4	15
46 ANAベースメンテナンステクノ	17	3	13
西日本高速道路	17	6	11
フジテック	17	0	21
49 DIC	16	7	13
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ	16	1	17
東京都下水道サービス	16	5	5
パナソニックシステムソリューションズジャパン	16	3	13
三井化学	16	5	18
森永乳業	16	4	19

(注)国立高等専門学校機構調べ(日経が取材した数字も含む)。※はグループ会社含む

高専側は学生を送り出した企業を注視する。「高専出身者をちゃんと成長させてくれるかどうか。伸びしろのある高専生なら期待だ。成長していることがわかれば、そこから2人、3人とつ

10年で400人強

高専側は学生を送り出した企業を注視する。「高専出身者をちゃんと成長させてくれるかどうか。伸びしろのある高専生なら期待だ。成長していることがわかれば、そこから2人、3人とつ

資生堂は九州で活動働き方面に続く

(編集委員 田中陽)

国立高専生2019年就職先ランキング

	企業名	採用数	うち女子	18年
55	NOK	15	2	12
	NTTコムエンジニアリング	15	2	18
	LIXIL	15	3	20
	ディスコ	15	3	12
	マイスターエンジニアリング	15	2	7
	九州電力	15	1	13
	大日精化工業	15	9	13
	日本オーチス・エレベータ	15	3	14
	日本空港テクノ	15	8	5
	パナソニック株式会社アプライアンス社	15	2	9
富士通	15	6	15	
メタウォーター	15	2	18	
67	日産オートモーティブテクノロジー	14	0	14
	日本触媒	14	0	10
	昭和電工	14	6	11
	ジョンソンコントロールズ	14	4	11
	ソニーエンジニアリング	14	2	7
	東洋インキSCホールディングス	14	7	9
	北陸電力	14	3	14
ユニチカ	14	4	10	
75	アイシン・コムクルーズ	13	1	7
	FIXER	13	1	4
	タマディック	13	1	6
	日立ビルシステム	13	0	20
	京セラコミュニケーションシステム	13	3	13
	第一三共プロファーマ	13	7	13
	村田機械	13	2	16
雪印メグミルク	13	6	17	
83	クラレ	12	3	5
	五洋建設	12	3	16
	大和ハウス工業	12	5	11
	国立印刷局	12	2	18
	パーソルR&D	12	0	16
88	DMG森精機	11	2	23
	JFEスチール	11	1	16
	宇部興産	11	4	8
	資生堂	11	9	9
	セゾン情報システムズ	11	2	10
	日立産業制御ソリューションズ	11	0	8
	日立ハイテクフィールドディング	11	6	10
	安川電機	11	1	2
	コニカミノルタジャパン	11	1	13
	住友不動産	11	4	7
	第一工業製薬	11	5	5
東京水道サービス	11	5	18	
成田空港給油施設	11	0	4	
三菱ケミカル	11	2	5	
TANAKAホールディングス	11	2	12	

資生堂、九州で学校訪問

工場稼働にらむ 技術・規律に着目

1面から続く

引く手あまたの高専生。産業構造の変化を受けてメンバーズのようなデジタル系企業が積極採用に乗り出している。その一方で製造現場の国内

（88位）。今後は九州初



資生堂は高専生向け企業説明会に精力的に参加している

回帰も就職戦線に影響している。象徴的なのがイ

となる九州福岡工場（福岡県久留米市）が注目さ

れる。近くには久留米高専（同市）や北九州高専（北九州市）がある。

工場の稼働は21年の予定だが、今年は周辺の高専に例年より半年ほど前倒して学校訪問を実施し

採用方針を丁寧に説明し

た。「化粧品会社だけに化学系で女性の応募者が多いが、機械や電気制御を学んだ人材にも来て欲しい」（人事部の杉山拓也氏）という。企業から見ると高専生も得意だ。学問だけでは、そんな素養を持つ高専生は、大学卒業後、大学院や高卒の中間にあるような役割も期待される。技術と人間力を併せ持つ高専生が引っ張りだこなのは納得がいく。